

新郷中生と八学大ラグビー部がニンニク収穫

搬出軽々ラグビー部パワー

中学生根気強く作業を補助

新郷

新郷村の青森農産（藤田寛明社長）が村内に所有するニンニク畑で21、22の両日、村立新郷中（橋本満昭校長）の農業体験学習と八戸学院大男子ラグビー部の地域貢献活動が行われた。参加した生徒と学生は、ニンニクの収穫作業を手伝い、村の基幹産業に貢献した。（田村純也）

新郷中は21日、1年生10人が総合的な学習の時間に

おける農業体験を通じ、村の基幹産業について理解を深めた。

働くことの大切さを学

び、社会人と接する際のマナーやコミュニケーションを育む目的で行われた。



1箱20kgの箱をトラックに積み上げる八戸学院大男子ラグビー部の部員



ニンニクを掘り起こす収穫機の作業を補助する新郷中の生徒ら

生徒は収穫機の作業を補助する作業と、根をはきみ

で切り取る作業の2グルー

プに分かれて実施。厳しい

暑さの中、根気強く作業に

取り組み、予定していた40

kgの収穫を終えた。

学級会長の玉川蓮さんは

「協力し合うとたくさん仕

事ができることを実感でき

た。もってニンニクのこと

を勉強したい」と振り返

った。

八戸学院大男子ラグビー

部は22日に作業に参加。カ

作業を難なくこなし、収穫

作業を支援した。

同部の工藤祐太郎監督と

藤田社長が、八戸西高ラグ

ビー部OBの関係で実現し

た。4年前から持ち上がっ

ていた取り組みだが、コロ

ナ禍の影響で延期が続い

ていた。

この日は部員21人と、ラ

グビートップアイストリー

グ秋田ノーザンブレッツの

元選手で、本年度から同部

コーチに就任した朋友太

さん（同村出身）が参加。70

kgの畑の約半分を収穫し

た。ニンニクの搬出作業で

は、1ケース20kg以上の箱

を軽々と運び、同社の従業

員から喜ばれていた。

2年亀掛川優希さん（岩

手県紫波町出身）は「普段

食べている物にすごく力が

が注がれていることが分か

った」と振り返った。